

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	二戸市社会福祉協議会 発達支援センター風		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年11月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62	(回答者数) 39
○従業者評価実施期間	2024年12月20日		～ 2025年1月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○訪問先施設評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年11月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	31	(回答数) 25
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先からの理解が得られていること	学校や園の先生は異動があるため、年度初めに保育所等訪問を実施することの挨拶文書と、保育所等訪問支援事業の意図を資料を添えて各学校・園へ配布している	今後も連携を密に行い、利用児について共通理解をし、支援の方向性を定めて支援を実施する
2	発達特性について、専門性のあるアドバイス	日々の療育の中でも利用児のアセスメントを丁寧に行い、利用児の状況を十分に理解したうえでのアドバイスを行うこと 園や学校・風・家庭それぞれの場で見せる子どもの姿があることをふまえてアドバイスすること	利用児がそれぞれの場面で見せるの姿を十分アセスメントし、アドバイスすること そのためにも連携し情報交換を密に行うこと
3	園・学校で把握しきれていない情報提供	幼児期から関わり継続した支援を行っていること	保護者の了解を得たうえで、丁寧な情報提供を行うこと

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）に、訪問先施設や担任等の意向が盛り込んでいくこと	利用開始の支給決定の支援会議の際、学校が参加していない中で支給量を検討しているケースもあるため	支援会議に学校も参加してもらい 出来ない場合は学校の意見を事前に聞いて検討事項に盛り込む
2	訪問支援に持参したツールや資料を保護者へも伝えること	学校の様子や先生と話し合った内容を説明することを優先していたため	訪問支援に持参したツールや資料を保護者へも提供したり、こちらからアドバイスした内容も具体的に伝えるようにしていく
3			